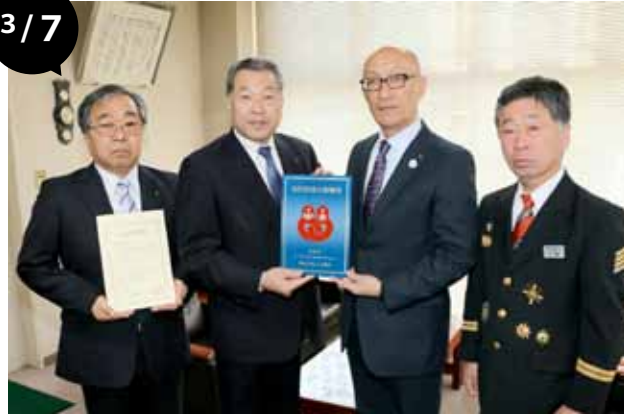




3/7



「消防団協力事業所表示証」交付

## JAさつない職員6人が消防団員

消防団協力事業所として、札内農業協同組合が「消防庁消防団協力事業所表示証」の交付を受けました。表示証の交付は、消防活動に積極的に協力している事業所に交付され、飯田町長から高橋秀樹組合長へ伝達されました。札内農業協同組合は、従業員数が51人で6人の職員が消防団へ入団し、地域の消防活動に協力しています。町内では、忠類農業協同組合が表示証の交付を受けていて、札内農業協同組合が2事業所目となります。

3/6



健康講座「太極拳講座」

## 太極拳で無理なく健康に

札内福祉センター大集会室で初心者向け「太極拳講座」が開催され、約20人が参加しました。この講座は町が健康づくりと運動習慣のきっかけづくりとして行っているもので、参加者は「手と足の動きがバラバラで難しい」「頭を使う」と、やや苦戦している場面もありました。講師の原田龍一さんは、「老化は手足から来る。ゆっくりと手足を動かす太極拳は老化防止に最適。健康寿命を延ばしましょう」と参加者に健康づくりを呼びかけました。

3/2



忠類保育所運営委員会解散式

## 31年の歴史に幕

忠類へき地保育所の町直営化に伴い、解散する忠類保育所運営委員会の解散式が、ナウマン温泉アルコ236で行われ、宮町悟さん(第2代委員長)と芹澤勇治さん(第3代委員長)に飯田町長から感謝状が贈られました。昭和61年に発足した同委員会は31年の歴史に幕を閉じました。



2/26



途別小学校バードハウス教室

## 手づくり巣箱に鳥さんおいで

NPO法人フェザードフレンドの指導のもと、巣箱づくりを通して野鳥や小動物の生態を学ぶ「バードハウス教室」が途別小学校の参観日に合わせて開催されました。児童と保護者はビーズの飾りや、野鳥の好むカラフルな色で装飾をするなど個性豊かな巣箱を完成させました。



3/21



札内サンダーズから3人が帯広選抜チームに選出

## 全道大会で全勝を！

ミニバスケットボール少年団「札内サンダーズ」の正田一行さん(札内南小5年・写真左)、橋本 拓亮さん(札内北小5年・写真中央)、伊藤 一心さん(札内南小5年・写真右)が帯広選抜チームのメンバーに選ばれ、3月25日⑤・26日⑥に千歳市で開催される第30回北海道ミニバスケットボール新人大会への出場が決まりました。3人は、「得意なプレーを生かしてチームに貢献し、全勝を目指したい」と大会への意気込みを語りました。

3/12



チャリティー公演「第20回舞と歌」

## 優雅な舞と歌で観客を魅了

藤間流藤寿会によるチャリティー公演が百年記念ホールで行われ、藤間流の艶やかな日本舞踊と歌など42演目で約450人の観客を魅了しました。今年で20回目となるこの公演で町への寄附金額は総額312万9,450円となり、飯田町長から後援会長の木川茂男さんに感謝状が贈られました。



3/5



女性まつり～私の料理自慢～

## 自慢の家庭料理に舌鼓

第7回女性まつりが忠類コミセンで開かれ、約100人の来場者が地域食材をテーマにした家庭料理コンテストやステージショーを楽しみました。惣菜部門は、小野寺真己さんの「ユリ根入りチャウダー」、おやつ部門は森山景子さんの「ゆりねクリームマドレーヌ」が1位に輝きました。



3/4、3/5



読書通帳記念イベント

## 図書館をもっと楽しもう

東部十勝4町図書館共通「読書通帳」の作成記念イベントが、町図書館3会場で開催され、「輪投げでビンゴ」や「パオくんとジャンケン大会」などの催しに、たくさん子どもたちが来場。「缶バッジ工作」では、絵を描きお気に入りのシールを貼って自分だけの缶バッジを制作しました。





町内中学校卒業式

# 巣立ちのとき、 笑顔と涙――

3月15日㊟、町内中学校5校で卒業式が行われ、計283人が3年間通った思い出の校舎に別れを告げました。



札内東中学校



札内東中学校



糠内中学校



糠内中学校



札内中学校



札内中学校



幕別中学校



幕別中学校

## 町出身 高木姉妹が活躍 高木菜那選手・美帆選手 第8回冬季アジア札幌大会 スピードスケート



1500mを制し来場者の声援に応える美帆選手



3000m競技を終えた美帆選手

高木美帆選手  
3000m  
1500m  
金メダル

第8回冬季アジア札幌大会が2月19日㊟に開幕し、スピードスケート会場となった帯広の森スケートリンクでは、20日㊟に競技が始まり、初日には町出身の高木美帆選手が、女子1000m㊟と3000m㊟に出場しました。女子1000m㊟では銀メダルと3000m㊟では、4分5秒75の国内最高記録で優勝し金メダルを獲得しました。

大会2日目となる21日㊟には、女子1500m㊟に高木菜那選手と美帆選手が出場し、美帆選手が1分56秒07の国内最高記録で優勝し前日に続く金メダルを獲得しました。菜那選手も3位と好成績でしたが、日本勢が1位から4位を占め大会規定(1カ国が1種目3個のメダル独占不可)により、銅メダルは授与されませんでした。



菜那選手のマススタート



団体金メダルの菜那選手

高木菜那選手  
女子チームパシュート  
団体金メダル

大会2日目の21日㊟に開催された女子チームパシュート(団体追い抜き)に、日本チームの一人として出場した高木菜那選手は、3人の先頭でスタートするなど日本チームの優勝に貢献し団体金メダルを獲得しました。

大会最終日の23日㊟には、勝負の駆け引きが必要となる女子マススタートに姉妹が出場し、菜那選手が3位集団でスピードをコントロールするアシスト役を演じ、美帆選手が金メダルを獲得しました。

第8回冬季アジア札幌大会成績  
・女子1000m 2位 高木美帆  
・女子1500m 優勝 高木美帆  
3位 高木菜那  
・女子3000m 優勝 高木美帆  
・女子チームパシュート(団体追い抜き)  
優勝 日本チーム  
(高木菜那、押切美沙紀、佐藤綾乃)  
・女子マススタート  
優勝 高木美帆  
4位 高木菜那

チームパシュート(団体追い抜き)  
1チーム3人で構成され、女子は400m6周(2400m)のタイムを競う競技で、追い抜いた時点で決着となり、3人目のブレードの一番後ろがゴールした時点のタイムが記録となります。勝ち残りトーナメントで行われ、1回のレースで2チームがメインストレートとバックストレートの中央から同時にスタートし勝敗を決めます。最低でもチーム全員が1周は先頭を走行することとなっています。

マススタート  
選手全員が一斉にスタートし、400m16周(6400m)で競います。全ての選手がスタートラインより後方に揃うとスタートの号令が発砲され、最初の周では良いポジションを得るための加速が禁止、2周目から加速が可能となります。レース中に、中間スプリントのポイントとして、4、8、12周にそれぞれ先頭から3位までに5点、3点、1点と最終スプリントとして、最後の16周でのゴール順位に先頭から3位までに60点、40点、20点が与えられ、ポイントにより最終順位が決定します。マススタートは、2018年の平昌五輪から正式種目になります。

### 高木姉妹が役場を訪問

3月21日㊟にシーズン終了の報告のため、高木菜那さん・美帆さんが役場を訪問しました。

今シーズンのスピードスケートワールドカップ(W杯)で、菜那さんがマススタートで2位、美帆さんが1000m㊟と1500m㊟で初優勝、そして姉妹で出場のチームパシュートでは、日本チームが3度優勝する原動力となり活躍しました。

飯田町長との懇談で、来年2月に開催される平昌五輪への目標を聞かれ、姉妹とも「パシュートでの金メダル」と語り、個人種目では、菜那さんが「各種目の底上げでメダル争いに加わる」と、美帆さんは「自分の上にいる人たちを超える」と力強く話していました。

また、姉妹は「5月以降の陸上トレーニングが重要なので、オーバワークに気をつけて目標に向かって頑張ります」と話していました。

